

【 作 品 紹 介 】

2014年
11月27日頃発売

engage 1 君だけを愛す

「嬉しい誤算だ。楽しみが増えたよ」
交差する互いの思惑と巧みな駆け引き、手強い大人の恋。

広告代理店に勤める敏腕プロデューサー・永見潔の興味を引いたのは新人俳優の伊関拓朗だった。永見に心を惹かれながらも、彼の物言いに反発して犯してしまう伊関。そんな出会いにも関わらず、惹かれあって想いを通じ合わせる二人だが、忙しい相手を思いやるほど気持ちはすれ違ってしまい…。さらには永見の過去が二人の関係を揺さぶり!?

engage 2 離れざる想い

2014年
12月25日頃発売

「会いたいよ、せめて声が聞きたい」

切り捨てたはずの過去に翻弄され、すれ違う二人だが――。

広告代理店に勤める敏腕プロデューサー・永見潔と大人気俳優・伊関拓朗は密かに恋を育んでいる。しかし彼には伊関に言えない過去があった。そんな折、永見に執着する兄が、その過去である来生、さらに新人俳優の東堂潮を利用し策略を巡らせてきた。永見は伊関に危害を加えられることを恐れ、彼の前から姿を消す。己の過去の罪に苦悩する永見だが、ようやく立ち向かう決心をし、再び伊関の前に姿を現すが――。

待望のスペシャル登場
2015年
1月26日頃発売

engage 3 番外編 LOOSER

「優しくされるほど、傷つくんだよ――」
叶わぬ想いに焦がれた青年の、もう一つの物語。

伊関にあこがれる俳優志望の東堂潮を、来生は永見への復讐の駒として利用する。来生に利用されて捨てられて、身も心も深く傷ついた潮に手を差し伸べたのは、カメラマン・溝口だった。彼に惹かれていく潮だが、溝口には他に想う人がいた。求めても手に入らない、胸の疼くような切ない恋に潮は――。

特典 & Webサイン会情報 (3冊共通)

書き下ろしショートストーリーペーパー

- ／ アニメイト (各巻につき1枚)
+ 全3巻連動購入でもう1枚
- 2 一般書店 (各巻につき1枚)

イラストカード & Webサイン会

／ 中央書店 コミコミスタジオ

連動企画SSペーパー全員プレゼント!

本の帯に
ついている
応募券3枚 + 応募台紙 + 82円切手
同封

で申し込むと
書き下ろしSSペーパーがもらえるよ♡

詳しくは本の帯を見てね♪

ふゆの仁子インタビュー
「engage 1 君だけを愛す」「engage 2 離れざる想い」について、ふゆの先生から作品秘話を伺いました!

●お話し誕生エピソードを教えてください。

友人と一緒に軽井沢に行ったことがきっかけで、本編内にある「サンセット・オブ・軽井沢」を収録した同人誌を発行したのですが(原題は「軽井沢の夕焼け」、伊関と永見はその日に登場していたキャラクターでした。こちらの同人誌をお読みくださった当時の編集担当様より、「この二人を主人公に単行本を書き下ろしませんか」とお話をいただいたことで、改めて設定などを組んでいきました。

●人の関係性はどこから発想を?

この頃、今の様に明確にプロットを組んだり、キャラクターの設定を準備して小説を書いていなかったので詳細をまったく覚えていません。

●本作を書くときに特に意識していたことはありますか?

「君だけを愛す」はとにかく勢いで書いていたので、意識することは特にありませんでした。「離れざる〜」については既に、伊関と永見というキャラクターが世の中に存在していたので、彼らの人生を描くのだという意識があったように思います。

●実はこうだったというような、意外な裏設定はございますか?

裏設定については、あらかじめ同人誌で明らかにしたので、これといって隠している設定はないです。実際文章にしてみることで追加された設定も多かったです。キャラクターの誕生日については、読者様のアンケートで決まりました。

●気に入っているシーンや設定はございますか?

「君だけを愛す」は、やはり懺悔室のシーンです。「離れざる想い」は、すべてが決着したあと東京タワーの夜景をバックにキスするシーンです。

●業界物としてリアリティのあるお話を書かれています。何が取材などなされたのでしょうか?

この頃は、一切取材等行っておりません。
●本作を漢字一文字で表すと?

●読者の反応で印象に残った出来事はございますか?

本文中で、溝口が永見を「姫」と呼んだことと、以来読者様から永見=姫と呼ばれることが当たり前になったことでしょうか。

●先生から見た永見と伊関の魅力は教えてください。

永見については、ギャップ。伊関については、とにかくストレートに永見

見を思っているところ。

●永見と伊関がもっと早くに…たとえば学生時代などに出会っていたら?

先輩後輩の関係となつて、恋愛に発展することはなかったように思います。

●逆に二人が出会わなかったらどんな人生を歩んでいたと思いますか?

伊関は役者として成功することはなく、永見は仕事に邁進し続け、海外へ行っていたのではないかと。

●永見と伊関に応援メッセージをお願いいたします。

「砂を吐く甘さ」という感想をいただいた二人です。決して平穩無事な日々を過ごしたわけではないからこそその絆の深さが生まれたのでしよう。この先もずっと幸せに!

●読者の方にコメントをお願いいたします。

この作品で私の話を初めて読まれた方も多く、同時に今も他の作品を読み続けてくださっている方も多く、まさに「原点」となる作品です。

ずっと待っていてくださる読者様がいらしたからこそ今回こうして復刊という形が実現しました。

初めてengageに触れる方にも、伊関と永見を中心とした世界を楽しんでいただけたら嬉しく思います。

